



シラバス参照

タイトル「2014年度 観光学部シラバス」、フォルダ「2014年度 観光学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経営学総論		
担当教員	竹林 明		
対象学年	1年	クラス	T1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水3	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
授業の概要	経営学を細部にわたって考察していくと非常に多くの領域が含有されています。本講義では、経営学とは何か、経済学、商学との違いは何かをふくめて、経営学の各領域の内容と関連について解説していきます。可能な限り、経済学部で開講されている「経営学」と併せて履修するようにして下さい。		
授業計画	回	内容	
	1	はじめに-現象としての経営、科学としての経営学。経済学、経営学、商学の違い。	
	2	企業論-企業とは何か。企業と会社の違い。企業と社会。	
	3	企業形態論-企業にはどのような種類があり、どのような特色を有しているか。	
	4	企業統治論-企業は誰のものか。誰が責任をもって動かしているのか。	
	5	経営戦略論-ビジネスの勝敗、企業の成長はいかにして決まるか。	
	6	マーケティング論-企業は売るものをいかにして決めているか。	
	7	経営組織論-有効かつ能率的な組織はどのような形態をとっているか。	
	8	経営管理論-有効かつ能率的な組織はどのような構造を有しているか。	
	9	企業間関係論-企業は他の企業とどのような関係を構築しているか。	
	10	生産管理論-いかに能率よくモノをつくるか。物的資源を有効に利用しているか。	
	11	人的資源管理論①-優秀な人材をいかに惹きつけるか。	
	12	人的資源管理論②-人材の能力をいかに高め、引き出すか。	
	13	組織行動論-組織の中で人はいかなる行動をとるのか。	
	14	国際経営論-企業が国際化するときどのような課題が生じるか。多国籍企業の経営はいかなるものか。	
	15	おわりに-科学的視点から日々の企業活動をみる。その本質を見極める力。	
到達目標	経営学検定試験中級レベルの理解ができること。		
成績評価	最終講義内で行う試験で評価します。		
教科書	上林憲雄ほか『経験から学ぶ経営学入門』有斐閣、2007年。		
参考書	講義内で適宜紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	資料等は配布しません。講義を注意深く聴き、メモをとりまとめる能力を同時に養って下さい。小試験(数回)は講義内で実施します。日頃より継続的に学修しておくことが強く求められます。		
予習・復習の内容についての指示	事前にテキストの指定部分を精読しておくこと。また、講義後はテキストの演習課題に取り組むこと。		



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.